

瀬戸内タウンミーティング議事録（鹿忍地区）

平成 24 年 11 月 15 日（水）午後 7 時～午後 9 時
牛窓町公民館鹿忍分館

参加者：男性 9 人、女性：2 人 合計 11 人

意見交換

・ **巨大地震が来た場合、牛窓町のこのあたりの被害予測が出るのはいつ頃か。**
（市長）県が現在検討している。

・ **牛窓町の海岸は全部浸かることになる。逃げる段取りが必要になる。今年度中に避難計画は作成されるのか。また、避難場所として西小学校を考えていない。山の上に逃げる。東小も現在の場所で大丈夫なのか。**

（市長）作成される。3 月中には変わり、地図も同様に作成される。避難場所をもう一度見直そうという話も出ているので、来年以降考えていく。それぞれの地域と一緒に考える必要がある。東小学校は、元々耐震化する方針だったが、建て替えと同じ程度の費用がかかることが判明したため、建て替えを選択した。高台に建てるという意見もあったが、体育館の耐震が既に終わっており、現在の場所だと 7 億円程度かかる。これを新しいところに新設すると 15 億円程度かかる。

・ **新しい場所に建てるということになると、西小学校はどうなる。**

（市長）統廃合の問題も出てくる。保護者にしても安全な校舎で授業を受ける方が安心できる。津波が来ても新しい小学校の 3 階に逃げれば助かる可能性もある。また、将来子どもの数が少なくなったときのことも考え、高齢者が利用できるなどエレベーターの設置も考えており、他の目的にも利用できる施設として設計している。牛窓の小学校の統廃合は、今のところ市の中で話はない。

・ **一つの教室に緊急用の食料などをいれておけば高齢者もくる。**

（市長）そうだと思う。

・3年半かかってやった図書館や錦海など、効果はあるが、牛窓町からみるとあまり恩恵がない。

(市長) モーモーバス、美術館、図書館、きらり館など、牛窓での取り組みも行っている。

・SECの跡地をスポーツ施設等に利用し、全国から客を呼んではどうか。

(市長) 民俗資料館跡を更地にし、SECの隣地をまず活用していくことも考えているが、手順を踏んで行く必要がある。

・医療と介護、年金の問題で、特に介護保険、本当の年金生活を始めたら大変だと思ふようになった。今後これが2倍、3倍になっていくのか。見通しを教えてほしい。市単独で、制度を変えてはどうか。

(市長) 今は5,400円ぐらい。今のままの制度でいけば3年間で800円あがった。1,000円も上がるとしんどい。施設を増やすと上がるが、高齢者が増える現状を踏まえる必要がある。なるべく我々も上げたくない。介護保険のお世話にならないようにしていく必要がある。国の保険制度のため、市単独では変えることは難しい。

・牛窓の町がずっと続いていって、昔のような活気を取り戻すことはない。高齢者が住みやすいまちはこのほどの場所はない。介護保険を使わないようにするのであれば、いま意識改革を行う必要がある。行政がなんでもやってくれるという意識から変わっていない。防災にしてもそうだが、何かをあたえることで意識が変わる。社会福祉協議会がサロンをしてくれたが、ほとんどお金がかかっていない。モーモーバスもそう。アイデアをだしてほしい。現に買い物難民という意識もない。世話をする役を与える必要がある。社協の福祉委員もそう。何か意識を変える方法を考えてほしい。

(市長) 何か用があればでていくというような機会を作っていく必要がある。

・保健福祉部の行事、健康フェスタなどだいたい長船である。鹿忍からだと坂を上らなければならない。3分の1でも牛窓でやってもらえたら。講演会など、外へいくことを求めるのならば、もう少し考慮してほしい。

(市長) 去年、一昨年、健康フェスタは牛窓でやった。ただ、確かに講演会などはゆめトピアが多い。行きにくいということを感じているのは確か。近いところで参加できるいろんな行事を作っていくよう検討していく。

・モーモーバスの復路は、現地で申し込みのため、年寄りでも携帯が必要にな

る。また、1時間前の予約が必要であり、スペースがあっても乗車することができない。広報紙等により、そういった情報を流してほしい。過疎債による補助も永遠ではなく、利便性の向上が求められる。

(まちづくり推進課長) 往復セットでの予約をとることとあわせ、買い物などでは待ち時間を調整してほしい。オペレーターが丁寧に対応してくれるので、とにかく電話をかけてほしい。また、使い方についても、モーモーバス便りを発行し、定期的に周知を図っている。今後もさまざまな機会を捉えて利用方法を紹介していく。